

# 亞洲服務業管理應用與未來展望國際研討會 兼 日本企業經營学会第 11 回國際學術研究大會

---

【基調講演】 於：第 3 會議室（9:25～）

## 日本のサービス産業における会計・監査上の諸問題

九州共立大学 梅田 勝利

最近、日本のサービス産業の生産性向上・高付加価値化の実現は、地域経済活性化、その持続的な成長性と収益性確保の観点から非常に重要になってきている。すなわち、サービス産業の生産性向上を図ることは、日本の経済成長戦略にとって喫緊の課題なのである。

サービス産業の生産性向上は、少子高齢化の進展（労働力人口の減少）による労働生産性の向上や、グローバル化の進展により激化する国際競争への対応を通じ、実体経済の効率性と成長の強化に資するものと考えられる。

さらに、サービス産業の高付加価値化の実現は、従業員の所得の拡大や、サービス需要の拡大・高度化を通じ、経済のサービス化における経済成長率向上に資するものと考えられる。

本研究の目的は、日本のサービス産業の生産性向上・高付加価値化の最近の動向について把握し、日本のサービス産業における会計・監査上の諸問題について考察することであった。また、本報告の目的は、その研究成果を報告することである。

以下の手順で、日本のサービス産業における会計・監査上の諸問題を把握し、そのうえで分析・検討を行った。(1) 官民の動向から、日本のサービス産業の現状と課題について把握する。(2) グローバル化の動向から、日本の会計・監査の現状と課題について把握する。(3) それらを踏まえたうえで、日本のサービス産業における会計・監査上の諸問題を抽出する。(4) (3)について、分析・検討をおこなう。